

課題の整理（唐津市）

項目：安全協定

分類	
課題	・唐津市には事前了解権がない。【全会派一致】
意見	<ul style="list-style-type: none"> ・佐賀県、玄海町、九電が締結している3者協定「原子力発電所の安全確保に関する協定書」に唐津市が参画していない。【志政会】 ・佐賀県と唐津市が締結している「原子力発電所の安全確保に関する協定書にかかる佐賀県と唐津市の確認書」が機能していないのではないかと。【志政会】 ・唐津市と九電が締結している「唐津市域の安全確保に関する協定書」が機能していないのではないかと。【志政会】 ・現行の安全協定について、唐津市は満足しているのかを確認する必要がある。その上で、新たな枠組みや内容の安全協定が必要な事項があれば整理する。交渉事であり相手方（九州電力、佐賀県）があつてのことであるため、それらを明確にした上で執行部と議会は歩調を合わせ交渉を重ねる。【清風会】
要望	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の県や九電との確認書・協定書の中で唐津市の意見を取り入れてもらう。【公明党】 ・他の地域の事例を参考にしながら、立地自治体と同等の安全協定締結を求めていく。【公明党】 ・玄海原発PAZ圏内の人口は、玄海町民より唐津市民が多いことに鑑み、玄海町並みの安全協定を目指すべきで、そのための「2者協定」再改定の協議を早急に始めること。【共産・展望・市リ】

項目：玄海町との協議会

分類	課題
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・原子力行政に関する唐津市の意向が反映される仕組みがない。【志政会】 ・今までの申し入れの結果として、玄海町は原発に特化した協議会は反対との考えである。市（議会）がいくら望んでも、玄海町にとってメリットがなければ協議会の設置にはならぬ。玄海町にとって協議会を設置するメリットがあるのか、今後において（例えば、避難道路の事業進捗や、1、2号機の廃炉措置のスムーズな進捗など）メリットとして何を生み出していくのかを整理できていない事が課題である。【清風会】
意見	<ul style="list-style-type: none"> ・地域協議会締結に向けた議論のなかで、しっかりとした原発行政についての議論がおこなわれているのか。【志政会】 ・地域協議会の中で、他の分野ばかりが議論され、結果として原発関連の議論は置き去りにされる可能性がある。そのようなことを防ぐために何らかの仕組み・取り決めが必要である。【志政会】 ・避難道路や避難先など玄海町と幅広い協議が必要である。原子力発電60年運転の事前了解に関する意見を協議。【公明党】 ・共有できる問題、連携できる問題での協議の場を持つことは必要である。【公明党】
要望	<ul style="list-style-type: none"> ・玄海町との協議項目について、協議内容について定例議会毎に報告を求める。【共産・展望・市リ】

項目：ヨウ素剤

分類	課題
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・周知が徹底されていない。【志政会・公明党・共産・展望・市リ】 ・配布方法の選択肢が少ない。【清風会・共産・展望・市リ】 ・市民の意見や考えを把握できていない。【清風会】
意見	<ul style="list-style-type: none"> ・現状の配布率がどういう意味を持つ数値なのか等、内容の精査が必要である。【志政会】
要望	<ul style="list-style-type: none"> ・避難先に常備する。希望する人が必要な時に利用できる配備態勢をつくる。【公明党】 ・安定ヨウ素剤の配布は、PAZに限定せず、希望者には全員受け取れるようにすること。【共産・展望・市リ】 ・配布会場方式ではなく、身近な薬局で受け取れるようにする。【共産・展望・市リ】 ※他自治体の事例を参考に「薬局での受け取り方式」 ・市民への広報活動の徹底【共産・展望・市リ】 ・保育園・幼稚園・小中学校・福祉施設・病院などへの事前配備【共産・展望・市リ】 →事前配備することによるリスクを確認した上で要望すべき【志政会】

項目：避難関連（市民への周知・ガイドブック・離島・要支援者）

分類	課題
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・市民への周知(周知内容、周知方法、理解度)。【志政会】 ・市民の安心が得られていないため、計画の実効性(計画内容)に不安が残る。【志政会】 ・離島から避難する際、潮位に関係なく利用できる栈橋が全島及び本土側に整備されていない。【志政会】 ・科学的な根拠に基づく理解が不十分【公明党】
意見	<ul style="list-style-type: none"> ・複合災害が発生した場合、離島内に留まることが出来る期間が1週間では短い可能性がある。【志政会】 ・離島からの避難手段である「船舶」や「バス」の手配について、民間企業に依頼が出来るのか。また道路が混乱する中で予定通り準備出来るのかの疑問が残る。【志政会】 ・最優先で取り組むべき項目である。UPZ（原発から半径5km～30kmの地域）は屋内退避となっているが、危険から逃れるという人間の心理を上回る説得力が必要である。ここがしっかりしないと、PAZ（半径5kmの地域）の避難が遅れ、計画通りの避難ができず混乱が生じる。避難の順番や方法を市民にわかりやすく説得力のある手法の確立が課題である。 ※ガイドブックの周知と説得する力が重要。【清風会】 ・万が一の事故はあり得るという認識が必要【公明党】 ・各地域で学習、周知する中から、具体的な課題が明確になる。【公明党】 ・毎時500マイクロシーベルト以上では、1日以内に避難。毎時20μSv以上の場合、1週間以内に避難の基準は、放射性物質が飛散している状況での避難となり、「被曝は避けられない」ので、実効性に疑問がある。【共産・展望・市リ】 →基準をもとに避難計画を検討するほかないため、実効性に疑問があるとの意見には同意できない【志政会】 ・車で避難出来ない人の為にバスが迎えに行くことになっているが、放射性物質の飛散場所に運転手を「業務命令」が法的に可能なのか。その場合、何処が責任を持つのか。【共産・展望・市リ】 ・避難道路の未整備地区が残っており、早急な整備を行うことが課題。また、UPZ内に伊万里市や長崎県（鷹島、福島）があり、広域避難に関する協議会の議論をしっかりと行う必要。【清風会】
要望	<ul style="list-style-type: none"> ・要配慮者（高齢者や障がい者）の避難について、十分な配慮を行うこと。【清風会】 ・綿密な避難計画の下、受け入れ自治体のスタッフ確保など受け入れ態勢を確立する。【公明党】 ・ガイドブックは、避難先変更やコロナ感染症拡大防止など、変更毎に「差し替え」をおこなうこと。【共産・展望・市リ】 ・避難者による避難所運営の訓練。【公明党】 ・ラインの活用でガイドブック等が見られるようにする。【清風会・公明党】 ・避難所運営マニュアルを早急に作ること。【共産・展望・市リ】 ・市民への周知は、あらゆるジャンルを通じて年間を通じ「定期的」におこなうこと。【共産・展望・市リ】 ・複合災害時の避難計画の作成を急ぐこと（コロナ、地震、津波、台風、大雨など）【共産・展望・市リ】 ・区長や自主防災組織の役員が定期的に変更されているので、「避難所見学」「避難ルート確認」を定期的に市主催でおこなうこと。【共産・展望・市リ】 ・離島や要支援者については、「事前登録」をおこない、常に更新が必要。【共産・展望・市リ】 ・5キロ圏内の住民避難先11カ所（28地区4047人）については、せめて責任者及び体制を明確にしておくこと。【共産・展望・市リ】 ・市民の避難先は、319カ所がある。その実態調査がされていないので早急におこなうこと。【共産・展望・市リ】 ・その場合、避難所運営に当たる職員は完全に不足する。その対策の具体化。【共産・展望・市リ】 ・受け入れ市町との連携強化（個別の市町との協議及び連携）【共産・展望・市リ】 ・福岡県は、福岡県民の避難を優先させるために「佐賀県からの道路封鎖」を許されている。人道上に問題があるので解決すべき。【共産・展望・市リ】 →避難をスムーズにするための誘導であり、人道上の問題はない【志政会】 ・避難所の実態を事前に把握する事（バリアフリー・トイレ・洗面・プライバシー保護・駐車場など）【共産・展望・市リ】 ・定期的にあらゆるジャンルの広報を行うこと【共産・展望・市リ】

項目：職員行動マニュアル

分類	課題
課題	・原子力災害に特化した職員行動マニュアルが作成されていない【全会派一致】
意見	・「唐津市地域防災計画」の第4編に原子力災害対策があり、この第3章 災害応急対策計画（P29～）市職員の行動について明記されている。現状として、職員一人一人が有事の際に順序立てて行動できるかは疑問である。職員へは、原子力対策の行動マニュアルとして独立させ、各自が災害時に何をすべきか周知し有事の際行動ができるようにすることが必要である（文書が長くわかりにくいので、要点をまとめわかり易いマニュアルを作成すべき）。また、マニュアルによる訓練を実施していないことが課題である。【清風会】
要望	・実効性のあるマニュアルを作成すべき。【志政会】 ・携帯可能なサイズのパンフレットの作成及び体制の整備。【公明党】 ・訓練の実施。実際に機能する体制になっているか。【公明党】 ・「避難所運営マニュアル」を早急に作成し、職員に徹底すること。

項目：その他（体制・組織等）

分類	課題
課題	・唐津市として各項目へ意見を述べるにあたっての人員体制、専門性が担保されていない。【志政会】
意見	・計画策定などの準備段階において九州電力の協力を得るべき【共産・展望・市リ】
要望	

項目：「玄海原子力発電所の安全・安心の確保に係る項目の対応状況」

分類	課題
課題	・進捗の確認作業と議会への報告が継続的におこなれていない。【志政会】
意見	
要望	・今回の委員会での議論とあわせ、現在の状況に合わせた内容へ修正(整理)する。【志政会】